

支部協だより

第67号

発行所
N T T 労組退職者の会
沖縄県支部協議会
沖縄県浦添市城間4-35-2
☎098-870-7101
Fax.098-875-7450
責任者
黒島善市



黒島善市

私たち高齢者をとりにまく

現状の打開を！

確か二一年前に、日本医師会は「今日の医師は多過ぎる。このままでは収入も減る。また少しの体調不良でも医師に掛かり医療費も増えるので医師を減らせ」と政府・自民党へ提言した。

自民党は日本医師会から多額の政治献金を受けており、要請を無視することは出来なかったのだろう。政府は、国の財政を理由に医療費抑制策を出し、その一つとして大学の医学部の定員減が打ち出された。その結果、今日のような医師不足を招いている。

そして後期高齢者医療制度。二〇〇六年六月に自民公明で強行採決され、今年

四月から実施されているが、実施と同時に高齢者を不安に陥れ、二年ごとの保険料の改定のために見直し引き上げられるなど、憤まんやるかたない。

そもそも高齢者だけを切り離れた保険制度というのは理屈に合わないと思う。なぜなら保険とは「リスクを社会的に分け合う」ことではないのか。それを医者にかかるリスクが高く、かつ経済的にも弱い高齢者だけを対象にした制度など有り得ないはずだ。

政治とは、少なくとも一〇年二〇年先をみて、私たちが平和で安全、安心して暮らせる世の中になるように尽くすべきと思う。

さらに道路特定暫定税率にみられるように、一部道路関連業者や与党は、この道路のみに使える暫定税率を維持せよと言う。しかし国会論議で道路以外にカラオケセット、マツサージ機、慰安旅行その他、何億という金が使われていたことが判明した。そして世論調査で暫定税率に賛成が26%、反対64%と多くの国民が反対しているにもかかわらずだ。

特定財源の一般財源化に何の不都合があるのか。救急医療体制や地球温暖化対策などを後回しにしてでもなお緊急を要する道路がどれほどあるのか、ガソリン税などの税率は今のままでいいのかなど民意を反映さ

せ、国民の目線に立って、とことん議論してほしい。そのためにも、ぜひ衆議院でも民主党を中心とする野党が多数を占められるよう私たちも頑張りたい。

その橋頭堡として来たる六月八日予定の県議選には情報労連の推せんする候補者の必勝を期し、現退一致で取り組んでいきたい。

熱戦！



108人が楽しむ！！

チームが熱戦をくり広げました。

チーム決定戦では、一チーム六名の内、最少得点をした五名のみを加算する方法を採用しました。この方法なら不得手の方でも、ゲームを楽しみながら参加する事ができます。熱戦の結果として、団体別順位は、北部チームが一位で、以下黒島チーム、電報カラオケチームと続き、遠方から参加した八重山、宮古チームは、一点差で四位となり賞品を逃しました。

個人別では、男子の部がホールインワンを三回も出した北部チームの照屋徳明さんが一位で、以下同チームの与那覇誠勝さん、黒島チームの又吉清善さんとなりました。

女子の部では、一位が宮古チームの平良一枝さんで、北部チームの照屋みわこさん、民舞サークルチームの

金城エミさんと続きました。今回の大会では、現役のN T T 労組の沖縄総支部の取り計らいで、八重山、宮古からの参加者には、それぞれ三名分の旅費を負担していただいたのですが、宮古からは、参加者がいないということで二名しか参加しませんでした。

大会終了後、現場にて表彰式と交流会を開催して、久しぶりの同僚との出会いに話がはずんでいました。表彰式では、団体・個人の三位の他に一〇個以上の沢山の「飛び賞」が授与されました。また交流会では、ジャンケンゲームの他に、沖縄独特のヒージャー汁、ブタ汁、トリ汁、沖縄そば、オードブルが出され、おいしそうで味わっていました。今回の大会では、労働金庫からの御協力で参加者全員に参加賞として「エコバッグ」を配布することができました。その他に、大会運営費への補助として「N T T 労組沖縄総支部」「テルウェル西日本(株)」「全労災沖縄県本部」等から金銭的援助をいただきました。更に、幹事の西銘豊さんが趣味で焼いている「茶



ワン「コーヒーカップ」が多数提供され、会員が喜んで持ち帰りました。紙面をかりてそれぞれの関係機関及び西銘幹事にお礼を申し上げます。

最後に「来年もぜひ開催をして」の声がありますので、次年度も実施します。多数の会員の参加を期待しています。せっかく多くの会員が参加したのに、写真班がなく「笑顔」が出せません。お詫び致します。

電通共済生協法の改正

生協法が改正されました。改正の要点を次のとおり簡記します。次回の再契約時には、留意して記入をお願いします。共済申込用紙は、八月初旬までには送付されます。

制度改正の主な内容

火災共済
① 加入できるのは、本人及び本人と同一生計の親族となります。

- ② 別生計の住宅・家財は契約できなくなります。
 - ③ 借家の住宅は契約できなくなります。(家財のみとなります)
 - ④ 空家・別荘は契約できなくなります。
 - ⑤ 罹災の時、他の保険・共済との支払い調整を行う場合があります。
- 交通災害共済
① 加入できるのは、本人及び本人と同一生計の親族となります。
- ② 小額治療費の場合、治

会員の訃報について
次の会員の方が亡くなられました。
慎んでご報告し、故人のご冥福をお祈りします。
照屋幸盛 様 (二〇〇八・三・三〇没) (うるま市在)
伊波興清 様 (二〇〇八・四・一三没) (名護市在)

事務局だよ!

療証明書は不要になります。(領収書は必要)
③ 時効規定が廃止されます。

詳細については、次回契約更新時(七月下旬から八月上旬にかけて皆さんに送付されます)の加入申込書とパンフレットを参照願います。

共済申込書のうち「支部協返送用」の返送について

従来までは契約内容に変更が無い場合は、返送していただいていたのですが、今度の改正で返送が必要となりました。これからは面倒ですが必ず返送方よろしくお願いいたします。

(事務局長 長嶺)



祝トゥンビー

月々ぬ早や馬ぬ早い (10年)

上 間 正 善

退職後やんばるで果樹園、その他野菜栽培に日頃あけています。

土、日には子供達が手伝いに来ます。その他那覇のほうでグラウンドゴルフで仲間と汗を流し、楽しいサークル活動を週2回やっております。

今後とも自給自足をめざし頑張りたいと思います。

*「困った」「まいった」と事務局で苦労しています。「結まーる」制度で確認された祝い金ですが、「絶対受けとらない」という会員が生まれ、人生様々で改めて驚いています。

*一月の「退職協だより」で、六〇名近くのトゥンビーが該当していると報告しましたが、今年は三四名で、あの数値は来年の対象者です。

*硫黄島を除き、国内戦場となったのは沖縄県のみです。酷い戦場に放り出された県民は、「軍隊は住民を守らない」という貴重な体験と教訓を得ました。今、日本会議と日本会議国会議員懇談会及び新しい歴史教科書を作る会等は、この貴重な体験を否定し、多数の県民は、率先して国家に命を捧げたと賛美しようと画策しています。その一端が

「強制集団死」への軍の関与を削除させた教科書問題であり、大江健三郎、岩波書店に対する名誉棄損の大阪訴訟です。大江の作品により「名誉を毀損」されたと訴えた本人がその大江の作品を読んだのは、提訴後の数ヶ月後であるとその法廷

で証言しました。画策した誰かに「そのかさされて、私は提訴しました」と証言しているのと同じ事だと思いませんか。裁判は「私は「強制集団死」の命令は出してない」とした当時の隊長の法廷での証言の信用性を否定し、日本軍の関与を認めて訴えを棄却しました。でも教科書の修正(元への書き直し)は、未了です。

*中曾根康弘を会長とする「新憲法制定議員同盟」が結成された。新憲法制定の目標は、戦争のできる国作り、憲法9条の削除ないしは改悪です。新憲法制定議員同盟の愛知和男幹事長は、「九条の会」と称する勢力に對抗するために地方に拠点を作ると言っています。問題は、その同盟の顧問に民主党の鳩山由紀夫がいて、副会長に同党の前原誠司や田名部匡省や渡辺秀央が入っています。沖縄からは常任幹事として下地幹郎のみ。民主党は、自民党と同じ改悪勢力に、9条を改悪する勢力(党)にいつの時点で決する時に座視できない根幹の問題だと思っています。
